



北九州市

DATA 【人口】 923,342人 (R4.12.1現在)
【面積】 492.50 平方キロメートル
【職員数】 7,199人 (R4.4.1現在)

新型コロナに対応せよ！！
～ みんなで作ったシステムで業務をDX ～

<発表概要or今年の特徴>

新型コロナウイルスの感染者は、その波を重ねるごとに増大し、保健所では、多くの応援職員を巻き込み、業務の肥大化を引き起こしていました。

この状況を打開すべく、DX推進部門の支援を得て、保健所職員が一丸となり、職員の手によるシステム化を実現しました。

その効果により、感染拡大期においても、感染者への対応力を向上させ、応援職員や時間外勤務の減少、経費軽減等を達成しました。

<改善運動の特色やアピールポイントなど>

「個人や組織が活発に企画や改善に取り組める、生き活きとした職場環境の実現」をモットーに、現場発信の業務改善に努めています。


年1回開催する提案報告会では、職場（課）単位で提案する「職場改善・時間外勤務削減事例部門」、個人でも提案可能な「個人提案部門」、さらに、広く職員の提案・意見を募りたい職場からテーマを挙げてもらう「テーマ部門」の3部門において募集した提案から優秀な提案を発表・表彰することにより、改善事例の共有を図っています。

<メッセージ・意気込み>

北九州市は、
「デジタルで快適・便利な幸せなまち」
の実現を目指します。

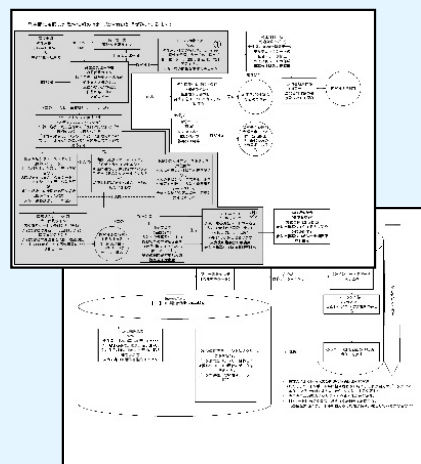


©北九州市

部署名	福岡県 北九州市 保健福祉局 感染症医療対策課 (北九州市保健所)
タイトル	<h1>新型コロナに対応せよ！！</h1> <h2>～ みんなで作ったシステムでDX ～</h2>
改善前 【Before】	<p>本市保健所では、新型コロナウイルス感染症の陽性者情報を紙台帳で管理しており、日々の健康観察や様々な調整のため、台帳の取り出し、そして業務終了後の台帳整理に膨大な時間を要していた。 職員は、毎日夜中まで残業しており、疲労の限界に達していた。</p> 

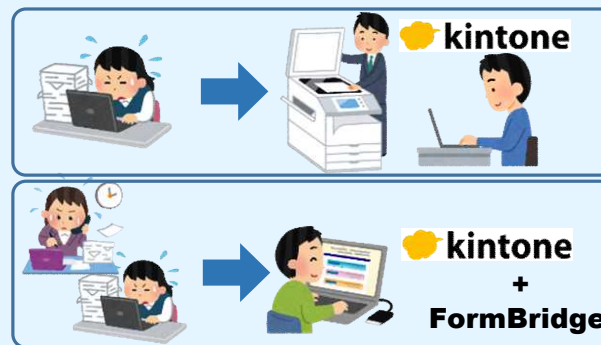
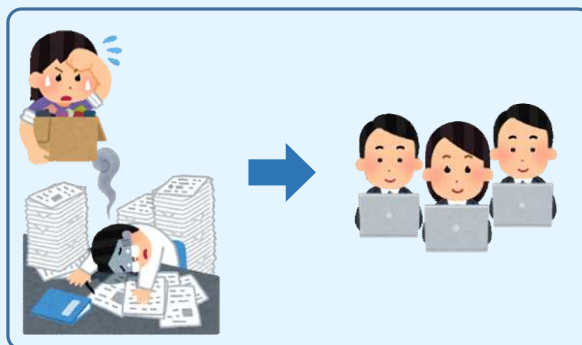
取組内容

- ・ 令和3年9月に、サイボウズ株式会社と本市が全庁的なDX推進に関する連携協定を締結
- ・ DX推進部門との協議を経て、**各ラインが一丸**となって、ノーコードツール「kintone」を活用した、**職員の手によるシステム化**を達成



取組内容

- ・ システム化によって、感染者の情報がデータ化され、感染者の健康状態に至るまで検索可能となったことで、日々の健康観察が重層的となり、感染者からの様々な相談・問い合わせへの**対応力が向上**
- ・ 更にDXを推進するため、**副市長指示によるDX推進部門とのプロジェクトチームが発足**し、AI-OCRの活用によるデータ反映の**高速化**、パルスオキシメーターの**迅速な配送**、生活支援物資の**オンライン申請**、療養証明・報道発表資料等の**簡便化**を実現



効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)

- **約3倍**の感染規模(第6波 1,000人/日⇒第7波 3,000人/日)を、変わらぬ従事体制(職員・応援職員・委託派遣、計200人)で処理
更に、業務分析による業務の定型化により委託化が進み、第7波の感染拡大期においては、第6波と比べ、他課からの応援職員100人を15人に削減

従来の約3倍の業務効率

- 台帳、用紙、印刷の削減により、

半年で1,000万円削減

- 職員の手によるシステム構築のため、

システム開発費用は0円

- **職場内の交流・相互理解の深まりと改善意識の向上**